



**Q** 末端組織への自主防災対策は  
**A** 町民への説明会を

長島正一議員  
昨年、防災訓練が行われ、数々の課題が浮き彫りになりました。災害時におけるマニュアルが絵にかいたものにならないよう、末端組織への対策が必要です。また、土砂災害等の危険箇所調査の公表は、



山崎英樹町長  
災害防止、住民の安全を守ることは行政の基本的責務であり、町民の協力のもと避難訓練を行い、役場職員の初動体制の確立も確認できました。その結果、多くの課題や反省点も見出され、まとめの報告にあわせ防災パンフレットを各戸配布し、町民説明会を行います。ハザードマップ、災害予想地区については、県の調査報告をもとに住民への公表、周知を図ります。

**Q** 若者の定住対策と産業創出を  
**A** 産業振興により就業の場確保

長島議員  
人口減、特に若者の流出(五月広報六二人減)が見られ、若者を中心とした雇用対策が急務です。そのためには、財政再建とともに、地場産業の創出による地域経済の振興なくしては将来がありません。当町の明確な戦略とその施策は、

山崎町長  
定住対策は待ったなしであり、里山コミッションを中核組織とし、丸ごと飯南町の情報を発信し顧客やファン確保に努め、産業振興により就労の場を広げ定住対策を進めます。今年度、新たに都市企業等の支援を受けながら、環境に配慮した産業活性化ビジョンを策定し、ビジネス化します。また、エコ米の看板につきましても、検討します。



集落で水路掃除

6月定例会  
町政を問う  
一般質問

**Q** 話題性ある施策を  
**A** 不妊治療費を検討

難波伸一郎議員  
次の国勢調査に向け、思い切った話題性のある施策が必要です。七五歳以上の老人医療費の無料化を求めます。また、若年対策として、保険対象外の不妊治療の補助を二〇万円程度実施する考えは、

**Q** 病院と診療所の連帯は  
**A** 改革プランを策定、一層の連携を

難波議員  
病院事業への一般会計による繰り入れは困難と思われれます。病院、診療所の外来患者や入院患者が減っている現状と対策、病院と診療所の人事交流は、また、土曜日の診療を検討し利便性と収益の向上を目指すべきでは、

山崎町長  
改革プランの策定中であるが、飯南病院は今年の二月、三月の入院患者が激減、病床利用率が六〇%を割り込み、収支は本年三月末で一千万円余の資金不足が発生し、非常に厳しい経営状況です。国保の被保険者は、六〇%が町外で医療提供を受けています。アンケート結果を詳細に分析し、意見交換会など実態をとらえ、利用を呼びかけます。病院と診療所の機能分担も検討します。相互の人事異動も定期的に行い、今後一層の連携を図っていきます。土曜日の診療は、平日への影響があり、困難です。



来島診療所



山崎英樹町長  
老人保健医療費の町負担金は約七億二千万円、受診者の一部負担金は約六千三百万円です。これを負担するのは財政上困難です。不妊治療費の助成は検討します。

下赤名地区 福田集落